

絵画（アート）の講義後、ロンドンにある絵画の殿堂「ナショナルギャラリー」に、歴史の講義後スベインの無敵艦隊を破り大英帝国の基礎をつくったネルソン提督を記念した「トラファルガー広場」、民主主義議会政治の殿堂ビッグベンの国会議事堂、セントジェームスパークも美しいところでした。文学の講義では、キャロル・ルイスの「不思議の国のアリス」の舞台となったクライストチャーチをたずねました。またオックスフォードの「アシユモレアン博物館」は大英博物館に次いでイギリス2番目に大きな博物館で考古学の宝庫でした。植物の講義後に「オックスフォード大学植物園」に、また学生の自治組織である「オックスフォードユニオン」（委員長は学生で全学生の投票で選ばれる）の建物内の図書館やディベート会場（イギリスの国会議事堂でもおこなわれている）を見学、しっかりした委員長（女子学生）の説明を聞くと、さすが民主主義の国イギリスだと思いました。オックスフォードで学んだ有名人はたくさんいます。イギリスのキャメロン現首相、ブレア前首相、サッチャー元首相も卒業生で、日本の皇太子殿下がマートンカレッジで皇太子



↑ 終了証書の授与式で

妃殿下がベルオリカレッジで学んだことは良く知られています。休日にはソールズベリー大聖堂にあるイギリス憲法の土台となった文庫、議会政治の法典「マグナカルタ」の原本を拝観しました、また訪れたところ

に印象深い場所に夏目漱石記念館があります。「夏目漱石の第五の下宿」はロンドン南部のグラハムコモンにあり、この町は100年前のままの町並みを残し、漱石も使ったといわれる郵便ポストもまだ残っています。下宿の前の建物を記念館にし、日本からも多くの旅行者が見学に来ていました。漱石が当時見たロンドンは古き良き、黄金時代のロンドンでした。またここは小説家としての出発する土台ともなった所といわれています。その後シェイクスピアの誕生地ストラットフォード・アポン・エイボンに行きシェイクスピアセンターや生家を訪問しました。

カレッジの卒業式用の
ガウンを着て↓

2週間の留学を共にした皆さんと

本部ホールガーラディナーで

前列右端が本人

上野の西郷さん銅像前で
記念撮影

松平 俊男（S36年卒）
われら同期会は、いつも、隔月に東京神田の料亭（？）での飲み会ですが、今年から飲む前に江戸・東京のまちを散歩して歴史を探究しようと、池ヶ谷君の発案・企画により実行。JR御茶ノ水駅に午後1時30分、リュックやショルダーバックに帽子のおじんスタイルの8名が集合。まずは、脱帽してニコライ堂を拝観。聖橋を渡って、昌平坂学問所・湯島聖堂へ。たまに開催されていた筑波大生の

お江戸散歩

SC36会

関東在住の
S36年卒同期会

集合 お茶の水駅→
ニコライ堂→湯島聖堂
→神田明神→妻恋神社
→湯島天神→不忍池→
上野公園→アメ横→
秋葉原→神田